An architectural rendering of a proposed promenade in Ginza and Akihabara. The scene is a vibrant, colorful illustration showing a wide, paved walkway lined with modern buildings. The promenade is filled with people walking, sitting on benches, and enjoying the space. There are trees, greenery, and colorful confetti scattered throughout the scene. In the foreground, a red double-decker bus is visible, and a large crowd of people is gathered on the right side of the promenade. The overall atmosphere is lively and festive.

**銀座・築地周辺
みどりのプロムナード構想**

令和3年7月 中央区

1 中央区内で検討が進められている都市基盤の動向

中央区では、日本橋上空の首都高速道路の地下化や都心部（銀座・東京駅）と臨海部（晴海・有明方面）をつなぐ都心・臨海地下鉄新線の整備等の**基幹的な道路・交通ネットワークの構築**、東京高速道路（KK線）及び首都高速道路都心環状線（築地川区間）の上部空間を活用した**新たなアメニティ空間の創出**、築地市場跡地の再開発において、**国際的な交流拠点や都心部との連携強化に向けた基幹交通インフラの整備**など、大きな転換期を迎えている。



出典：国土地理院撮影の空中写真（1977年撮影）を加工し作成

首都高速道路の地下化等

- ・首都高速道路日本橋区間の地下化
- ・新たな都心環状ルートが地下に整備
- ・都市高速道路晴海線の整備
- ・首都高速道路都心環状線（築地川区間）の大規模更新

都心・臨海地下鉄新線整備

- ・都心部（銀座・東京駅）と臨海部（晴海・有明方面）をつなぐ都心・臨海地下鉄新線の整備

築地川アメニティ整備構想、東京高速道路（KK線）再生方針

- ・首都高速道路都心環状線（築地川区間）の上部空間を活用し、銀座と築地をつなぐ新たなアメニティ空間の創出
- ・東京の新たな価値や魅力を創出するため、KK線上部空間を歩行者中心の公共的空間として再生・活用

築地市場跡地の再開発（築地まちづくり方針）

- ・新たな東京ブランドを創造・発信する「創発 MICE」機能を持つ国際的な交流拠点の形成
- ・舟運、バス、地下鉄などのインフラから成る広域交通結節点を戦略的に形成
- ・スーパー堤防や防潮堤の活用等により、水辺沿いの歩いて楽しい歩行者ネットワークを形成

銀座・築地周辺において、新たな歩行者空間や緑化空間の創出に向けた取組が進められている

2 銀座・築地周辺のプロジェクト

東京高速道路（KK線）再生方針 東京都 令和3年3月

■KK線の再生・活用の目標

都心において約2kmにわたり連続するKK線の高架道路の形態は、東京都心の活発な都市活動を俯瞰できるなど、希少性のある空間を有しています。また、皇居・日比谷公園・浜離宮恩賜庭園等の大規模なみどりとも近接しています。

さらに、KK線は銀座地区を取り囲むように位置し、連続した商業空間が地域のにぎわいと魅力の形成に貢献してきました。

こうした既存施設の形態や立地等の特徴を踏まえ、都市づくりのブランドデザインや「未来の東京」戦略ビジョン等に示す、「活力とゆとりのある高度成熟都市」や「高度な都市機能を維持・更新し、人が集い、憩う東京」等の実現に向けて、KK線の高架施設を新たな価値や魅力を創出する歩行者中心の公共的空間として再生・活用することが必要です。

KK線の高架施設等の既存ストックをいかし、東京の新たな価値や魅力を創出するため、KK線上部空間を歩行者中心の公共的空間として再生・活用することを目指し、3つの将来像を定めました。

KK線の再生・活用の目標

～東京の新たな価値や魅力を創出するため、KK線上部空間を歩行者中心の公共的空間として再生・活用～
 “車中心から人中心へ”の転換による、開放的な歩行者ネットワークの創出
 “人とみどりが共存・共栄”した高度成熟都市のシンボルとなるグリーンインフラの形成
 “地域の価値や魅力”を向上させるための開放的な憩いの場の創造

目指すべき将来像

将来像1 高架道路の形態をいかした広域的な歩行者系ネットワークの構築

将来像2 連続する屋外空間をいかした大規模なみどりのネットワークの構築

将来像3 既存ストックをいかした地域の価値や魅力の向上



出典：「東京高速道路（KK線）再生方針」東京都

築地川アメニティ整備構想 中央区 令和元年9月

■全体コンセプト

「国際性豊かで多様なライフスタイルを支えるアメニティ空間の創出」

■新たなアメニティ空間のイメージと担う役割

①緑の量的拡大と質的向上

- ・緑豊かで自然を感じる“都心に開かれた新たな緑化空間”
- ・周辺の緑とつながり、かつての築地川の記憶を継承した”水と緑のネットワーク“
- ・都市環境の改善を図る”環境配慮型の都市空間“

②新たな人の流れを生み出す回遊動線

- ・銀座、築地のまちを一体的につなぎ、にぎわいと緑が織りなす“都市の顔となるストリート”
- ・新たな回遊を生み出す”交通結節性の高い歩行者ネットワーク“

③安全・安心で健康的な暮らしを支える憩いの空間、文化発信力の高いパブリックスペース

- ・誰もが、快適で質の高い、健康的なライフスタイルを過ごすことができる“都市生活を支えるアメニティ環境”
- ・大規模災害において、一時避難場所になるなど”安全・安心な暮らしを支える防災活動拠点“
- ・年間を通じて大小様々なイベントが行われる”誰もが体験・交流・発信できるパブリックスペース”



出典：「築地川アメニティ整備構想」中央区

築地まちづくり方針 東京都 平成31年3月

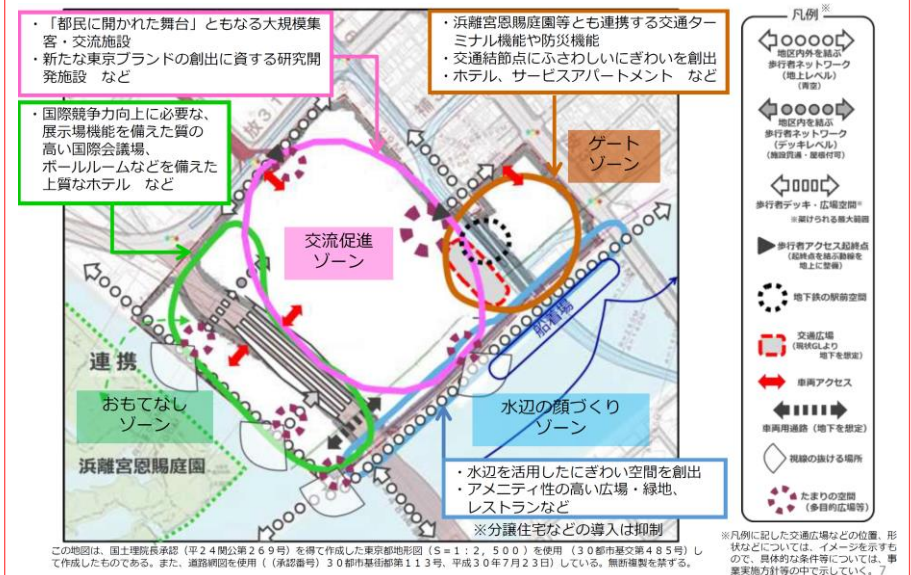
■築地地区の将来像

- 浜離宮恩賜庭園や銀座、隅田川、そして食文化など、魅力的な資源を有する地域のポテンシャルを生かしつつ、新たな東京ブランドを創造・発信する「創発MICE」機能を持つ国際的な交流拠点が形成されている。
- 従来のMICEの概念を超え、周辺地域とも連携しつつ、国際会議場等の機能を中核としながら、文化・芸術、テクノロジー・デザイン、スポーツ・ウェルネス（健康増進）などの機能が融合して相乗効果を発揮し、東京の成長に大きく寄与する交流拠点として発展していく。
- そこでは都民をはじめ、国内外から多くの人々が集い、共に感動し、楽しみを共有することなどにより、新たな築地ブランドを含む新たな時代の東京ブランドが創造・発信される。
- 新たな東京の魅力を創造・発信するクリエイティブな活動やイベントなどに多くの都民が主体的に参加することは、東京全体の活力・競争力の向上、ひいては日本全体の成長の源泉ともなっていく。

■都市基盤整備の方針

- ・地下鉄など基幹交通インフラ整備の具体化を図る。
- ・防災船着場を舟運ネットワークの要となるよう整備する。
- ・地域の回遊性を高める舟運ネットワークの導入を図る。
- ・水辺沿いの歩いて楽しい歩行者ネットワークを形成する。

■ゾーンごとの導入機能イメージ



この地図は、国土理院長承経（平24開公第269号）を得て作成した東京都市地図（S=1:2,500）を使用（30都市圏交第485号）して作成したものである。また、道路網図を使用（平30都基第113号、平成30年7月23日）している。無断複製を禁ずる。
 ※凡例に記した交通広場などの位置、形状などについては、イメージを示すもので、具体的な条件等については、事業実施方針等の中で示していく。7

出典：「築地まちづくり方針」東京都

「東京高速道路（KK線）再生方針」と「築地川アメニティ整備構想」の連携により、銀座・築地周辺を結ぶみどりのプロムナードの創出を図るとともに、築地市場跡地の再開発、浜離宮恩賜庭園、隅田川に続く広域的な歩行者中心の水とみどりのネットワークの形成を目指す。

3 2040年代の銀座・築地周辺の姿

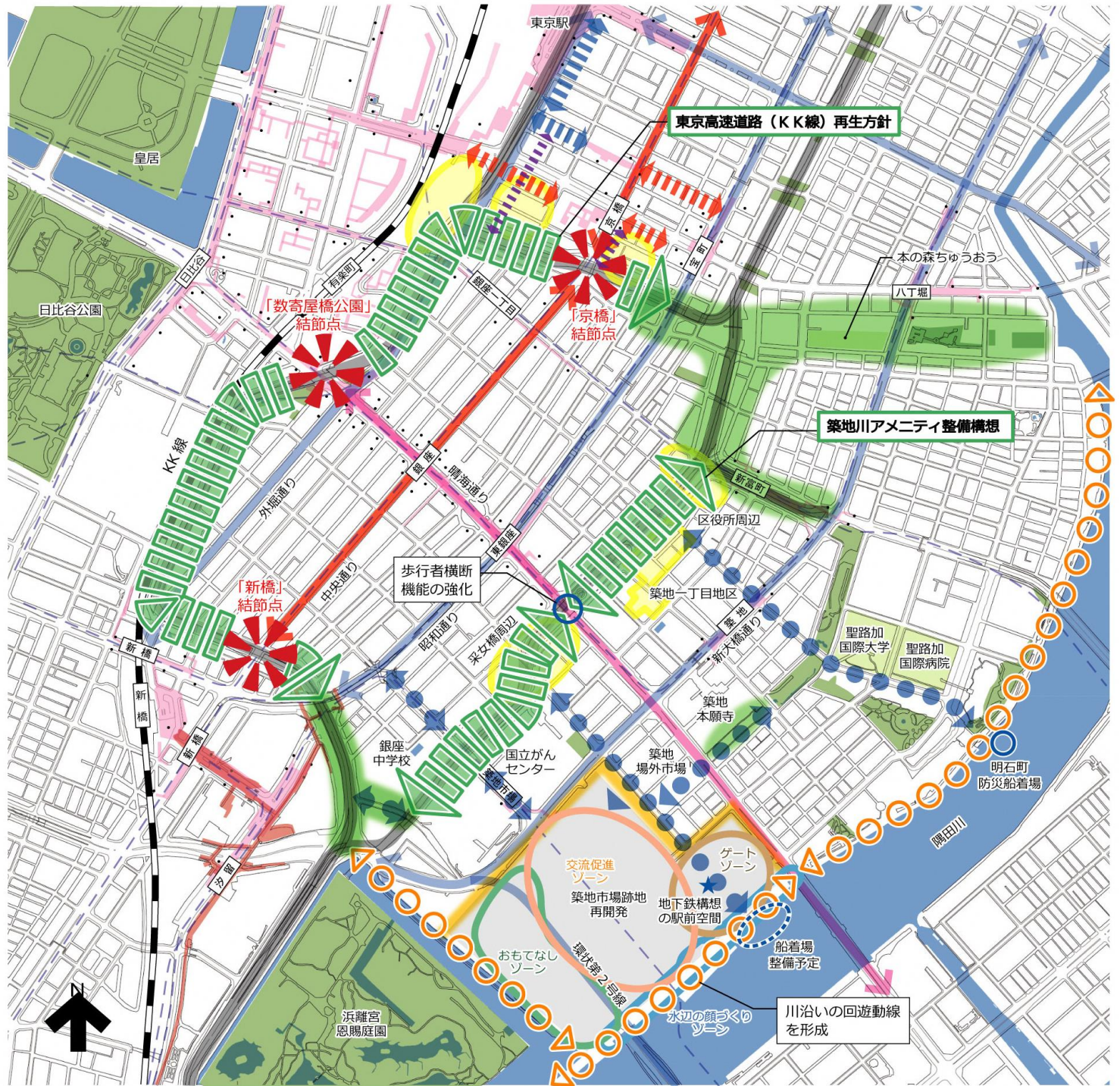
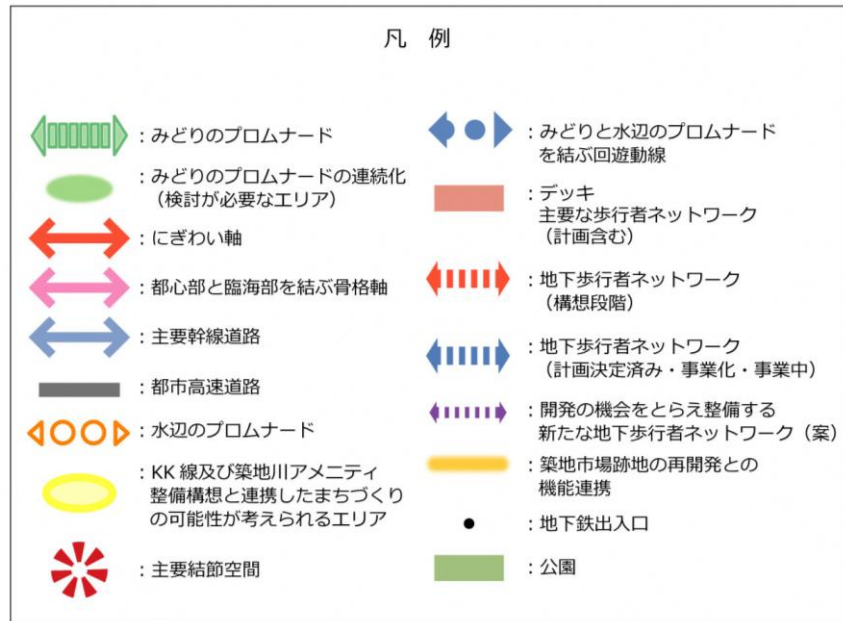
銀座・築地周辺のポテンシャルを生かし、東京のみならず、日本国内の魅力を世界に発信する都心に開かれた緑豊かなアメニティ空間の創出

銀座・築地周辺を結ぶみどりのプロムナードの創出

- 各都道府県の花や木を使い、都心にいながら日本の自然の豊かさを感じられる緑豊かな快適な空間が形成される
- 地域の歴史や文化などを活かした魅力的な空間が形成される
- 回遊性を高め、にぎわい、魅力を創出し、交流が促進される
さらに、周辺まちづくりと連携することで、より一層の効果が期待される

広域的な歩行者中心の水とみどりのネットワークの形成

銀座・築地周辺を結ぶみどりのプロムナードをはじめ、築地市場跡地の再開発、浜離宮恩賜庭園、隅田川に続く広域的な歩行者中心の水とみどりのネットワークが形成される



電子地形図 2500 (国土地理院) を加工して作成

中央区の考える「歩行者中心の水とみどりのネットワーク」

4 みどりのプロムナードに必要な機能

1 プロムナードと地上部をつなぐ「スマートエントランス」

回遊性を高めるためプロムナードと地上部をスムーズにアクセスするため、地上部の主要な道路や施設との結節点、再開発等が検討されているエリア、KK線の既存スロープ部を活かした「スマートエントランス」が必要。



イメージ図

3 プロムナードを47都道府県の花や木などで彩る「スカイガーデン」

47都道府県と連携し、各地域の花や木、伝統文化を取り入れるなど、それぞれの特色を表現することで、東京にしながら日本の自然や地域の文化を感じることができる「スカイガーデン」が必要。



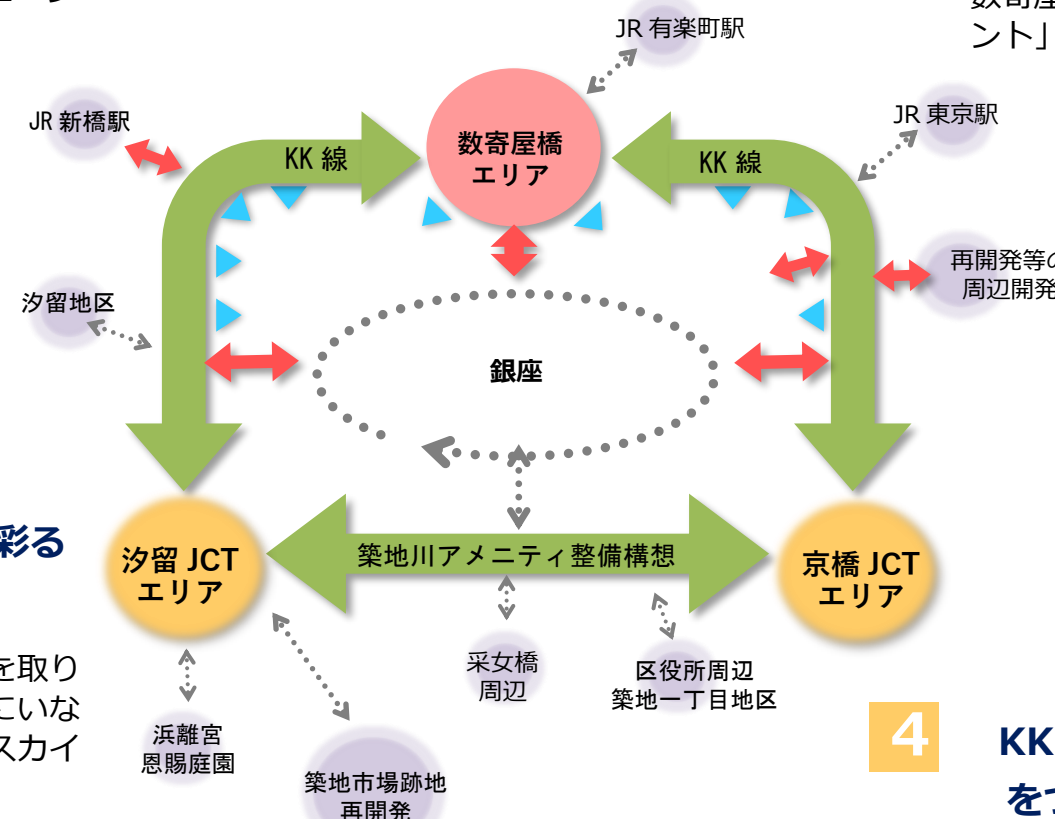
イメージ図

2 日本の魅力を世界に発信する「ビューポイント」

日本の魅力や文化等を世界に発信、創造する場として、再開発等が検討されているエリア、KK線の広幅員部、数寄屋橋交差点、中央通りとの交差点等に「ビューポイント」が必要。



イメージ図



基本方針の概念図

4 KK線の上部空間と築地川アメニティ整備構想をつなぐ「ジョイントエリア」

汐留JCT・京橋JCTエリアにおいて、KK線の上部空間と築地川アメニティ整備構想の連続性、回遊性を創出するため、結節機能を有する「ジョイントエリア」が必要。

特に、回遊性や連続性への配慮が必要であり、接続機能の整備や配置が重要

5 接続機能の整備・配置イメージ

①「数寄屋橋公園」結節点

- ・晴海通り×KK線の交差点として、新たな都市のランドマークに資するエントランス空間の創出が求められる。
- ・地上部と高架部へのスムーズなアクセスを実現するため、数寄屋橋公園の敷地を活用するなど、ユニバーサルデザインやシンボル性のある施設の導入が必要。

【主な導入施設】

- ・縦動線（階段、EV等）
- ・ランドマークに資する広場空間等

広場と一体となった大階段（バンクーバー・カナダ）



②「京橋」結節点

- ・東京駅前地域からの回遊性を活かしたエントランス空間の創出が求められる。
- ・歩道等の公共施設の活用や周辺開発と連携するなど、多くの人通りを受け入れるゆとりある空間形成に配慮した接続施設の導入が必要。

【主な導入施設】

- ・縦動線（階段、EV等）
- ・周辺開発と連携した広場空間等

エレベーターと階段（ニューヨーク・アメリカ）

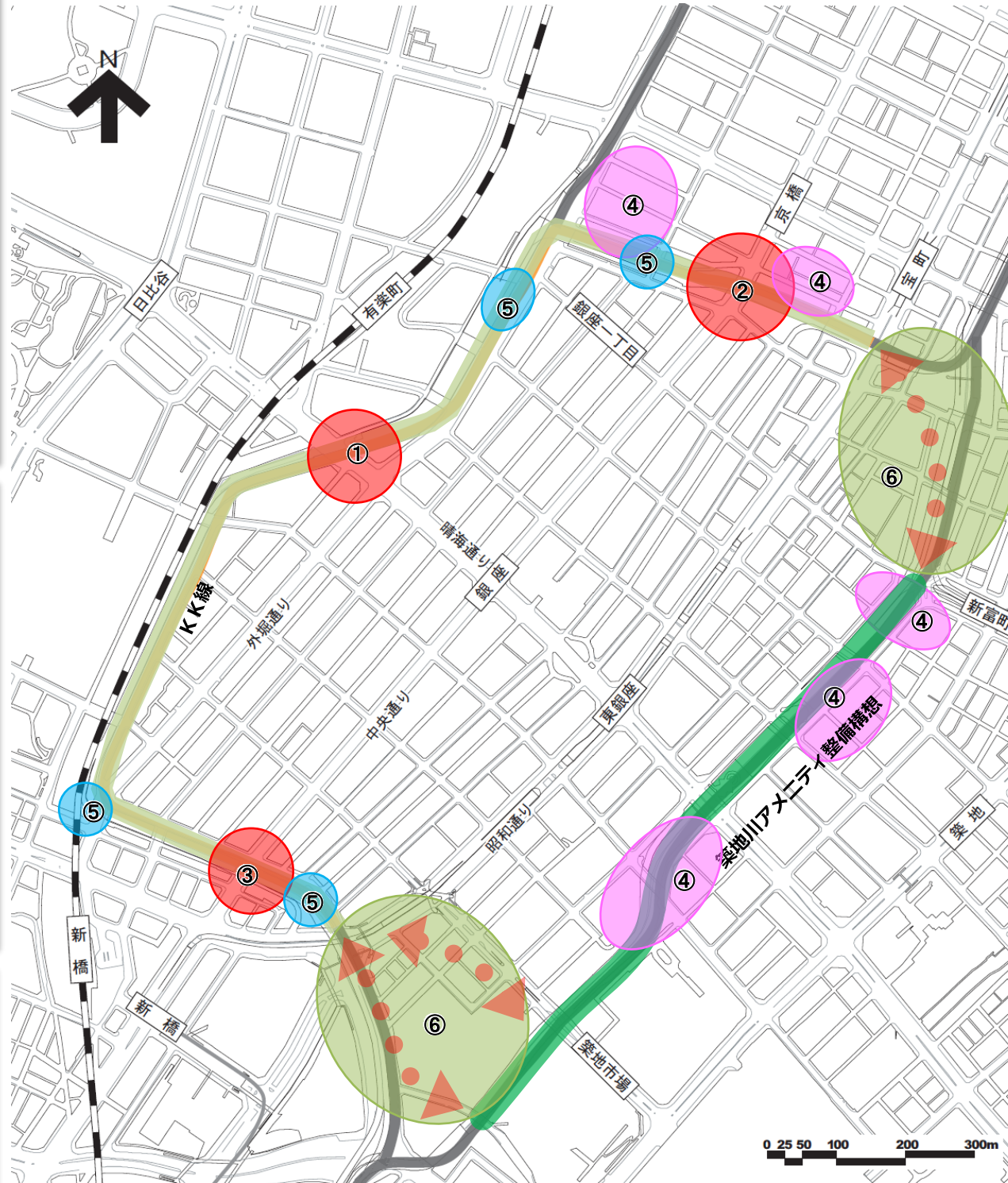


③「新橋」結節点

- ・中央通り×KK線の交差点として、エントランス空間の創出が求められる。
- ・歩道空間等を活用し、多くの人通りを受け入れる接続施設の導入が必要。

【主な導入施設】

- ・縦動線（階段、EV等）



電子地形図 2500（国土院）を加工して作成

接続機能の整備・配置イメージ

④周辺開発との連携

- ・KK線の上部空間や築地川アメニティ整備構想と連携したまちづくりが考えられるエリアでは、一体的な空間整備による魅力やにぎわいの創出が求められる。
- ・周辺開発において、地上・地下や駅とのバリアフリーな縦動線、上部空間との連続性に配慮した接続施設、多様な活動展開が促進される機能の導入が必要。

【主な導入施設】

- ・接続デッキや縦動線（EV等）
- ・周辺開発と連携したにぎわい施設や広場空間等

⑤「既存スロープ」等の活用

- ・地上部と高架部へのスムーズなアクセスを実現するため、KK線の既存スロープ空間や公共施設を活かしたアプローチ施設の導入が必要。

【主な導入施設】

- ・階段、EV、ESC等

⑥「汐留JCT」「京橋JCT」周辺

- ・KK線の上部空間と築地川アメニティ整備構想の連続性、回遊性の創出が求められる。
- ・誘客性の高い施設の導入が必要。
- ・都心環状線の接続部の有効活用や既存道路の再整備により、連続性に配慮した歩行者空間や緑化空間の形成が必要。

【主な導入施設】

- ・にぎわい施設、KK線と都心環状線の接続部を活用した歩行者空間、シンボルロード等

6 本構想の実現に向けて

本構想の実現に向け、以下の項目について検討を深める必要がある。

そのため、関係機関や周辺まちづくりを検討している事業者、整備主体者等（以下「関係者」という。）に働きかける。

また、本区としては、KK線等に接する区の公共施設（道路・公園など）の活用に協力するなど、関係者と連携していく。

【検討項目】

- ・ 区の公共施設の活用や周辺まちづくりと連携した「スマートエントランス」の導入
- ・ KK線の上部空間に「スカイガーデン」「ビューポイント」の導入
- ・ KK線の上部空間と築地川アメニティ整備構想の接続部（汐留JCT、京橋JCT周辺）におけるみどりのプロムナードの連続化
- ・ 築地市場跡地の再開発、浜離宮恩賜庭園、隅田川に続く広域的な歩行者ネットワークの形成



イメージ図



イメージ図